

# にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ

ifa-きしわだ

総会開催

2022年  
5月7日(土)

No. 132

総会

総会・経過報告

城と祭りと輝く未来  
岸和田市制100周年

無料配布中

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人のびと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にしたい親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



Since 1989

ifa-きしわだ  
岸和田市国際親善協会

ifa-kishiwada.rinku.org

2022年度の事業指針を決定する総会が、5月7日(土)南海浪切ホール4F交流ホールで開催されました。2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症に伴う「緊急事態宣言」が発令され、感染拡大防止のため中止の止むなきに至りました。これにより会則に従い総会を书面議決とさせていただきます。今回は感染防止規制が若干緩和されたとはいえ、会場での換気、対人距離、マスク着用、消毒液配備等々、万全の感染防止対策を期しての3年ぶりの対面開催となりました。

総会は井上實会長挨拶及び永野耕平市長等ご来賓祝辞に引き続き、事務局、広報部会、事業部会、日本語サロン部会より2021年度事業報告、並びに同年度決算・監査報告があり、原案通り承認されました。引き続き2022年度の事業計画案・予算案についても満場一致で承認されました。

また当協会が主催する外国人のための日本語サロンにおいて、10年間に亘り、支援にあたられ、多大の尽力をされた功績により、緒方理世、荻野昌美、小島祥子、松本光男、山本味香、吉田正博(敬称略)の方々に感謝状と記念品が贈呈されました。(2面に関連記事を掲載) (広報部会)

## ご挨拶 会長 井上 實

3年ぶりに一同に会して、対面での開催となりました。新型コロナ感染発生から丸2年以上が経過しました。やはり終息には最低3年、奈良時代の天然痘のウイルス感染症では、政治の混乱と多くの人の犠牲を伴いました。

昨年度はコロナ感染の拡大・小休止、山あり谷あり緊急事態宣言、蔓延防止措置の間をぬって、予定された事業が幾分か実施できました。機関誌の定期発行、日本語サロンの開催をはじめ、新しい試みとしてサロン生の外国の方も参加しての岸和田再発見観光ツアーなども実現できました。

岸和田市は今年11月に市制施行100周年を迎えます。市の誕生の年度内に和泉葛城山のぶな林が国の天然記念物の指定を受けました。

ブナ林からのひとしづくは芽ぬの海から太平洋につながり岸和田市の海外の都市との友好交流は広がってきました。中国・アメリカ・韓国そして今年は何は？

今年度は、昨年来取り組んできた『やさしい日本語』のこと、日本語を理解しない、しにくい外国



の方や高齢の方などにも有効な会話や情報の手段として、人に優しく(KIND)、易しい(EASY)日本語のさらなる普及に務めたいと思います。早速協会組織運営会などをメンバーに編集委員会を立ち上げました。

市制施行100周年記念協賛事業として、やさしい日本語の冊子を編集作成発行し、市の行政窓口等での活用、市民センター、公民館、小中学校等での配布、一般市民や会員を対象の講座・交流会でも活用していけたらと思います。

### ウクライナ難民義援金

3月24日~5月7日の間、理事会・総会・日本語サロン・クラブ・EOC等で募った義援金

46,800円を、岸和田市を通して日本赤十字社へ届けました。ご協力ありがとうございました。



Since 1989

皆様、こんにちは。  
岸和田市長の永野耕平でございます。

皆様方には、平素より、本市のまちづくりに多大なご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

貴協会は1989年に設立されてからこれまで、30余年の長きにわたり国際交流の発展にご尽力賜っています。歴代役員の方々をはじめ会員各位のご努力に深く敬意と感謝の意を表する次第です。

日本語サロンの開催、祭礼時の外国人インフォメーションセンターの開設をはじめ、岸和田市の友好都市との交流事業の際にも積極的に活動いただいています。また、異文化に触れる市民へのサポート等、岸和田市の国際化にもご協力いただいています。

今年、岸和田市は市制施行100周年を迎え、市民の皆さまとお祝いできる事業を進めているところです。貴協会には、市制施行100周年カウントダウンの286～288日に参加いただきました。「English Open Café」「KIMONO クラブ」「日本語サロン」の皆さまには、華やかに盛り上げていただき、ありがとうございました。また、100周年の協賛事業に「やさしい日本語」を使いましょう」を企画いただいています。

よろしく申し上げます。

貴協会のホームページに、「ZOOM 講習会を開催しました」や「多文化共生講座開催 岸和田（きしわだ）を歩（ある）きましょう!」の記事を見かけました。コロナ禍により、思うように国際交流ができないかとは思いますが、留まるのではなく、前進しようとする力強さに感心しました。事態が収束する時には、以前の賑わいを期待していますので、その時に力を発揮していただけるように、これまでと同様に国際交流のノウハウの蓄積と継承もよろしくお願いいたします。



岸和田市長  
永野 耕平

結びに、今後とも国際交流を通じた地域社会の形成にご協力いただきますようお願い申し上げますとともに、岸和田市国際親善協会の益々の発展と、皆さま方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、私のあいさつとします。

## 日本語サロンボランティア支援者 表彰



日本語サロンの開設、運営をお手伝い下さった皆様へ、感謝の意を表彰状が贈られました。

以下、ボランティア支援者として10年間に亘り関わってこられた方々のコメントです。

### Q.日本語ボランティアを始めたきっかけは

- ・海外で生活していた時にたくさんの現地の方々にお世話になったので今度は自分がお返ししようと思ったからです。
- ・日本語を外国人へ教えるという事は自分の英語の勉強に役に立つと思い始めました。

### Q.10年間で印象に残っている生徒や出来事は

- ・結婚式に招待してもらったこととか、私の誕生日を祝ってくれたこと。
- ・70人ほどのインドネシア人たちと浜寺公園に花見に行ったことです。
- ・久米田池のひな祭りにみ



表彰式の様子

んなで出かけたこと。

- ・日本に来てみんなで楽しくしているのを見て感動しました。

### Q.10年間続けることができた継続の原動力は

- ・生徒さんが「待っていてくれる!!」
- ・学習者の方々が真



面目に勉強したいと思って頑張っていたから

- ・ボランティアの皆さんとの交流も楽しかったから
- ・教えることの楽しさと質問されることによって自分も勉強できることです。

## 友好都市の紹介



### 中華人民共和国広東省汕頭市（1990年6月2日友好都市締結）

岸和田市が最初に海外の都市と友好都市締結したのが汕頭市です。

シャントウ市またはスフトウ市と呼ばれています。中国三大刺繍の一つ、汕頭（スフトウ）刺繍は有名です。

汕頭市の皆さんとは主に、産業や文化、スポーツ、教育などの分野で交流が続いています。2018年には、友好代表団が汕頭市で開催される予定の国際マラソン大会の視察に岸和田市を訪問しました。また、同年に岸和田市日本中国友好協会の働きかけで「日中小学生絵画交流展」が実現しました。昨年の第4回では、両市合わせて170点の子どもたちの絵画が自泉会館で展示され、その後汕頭市でも同じ展覧会が催されました。

スポーツ交流では、KIX 泉州国際マラソンに汕頭市のランナーを招待し、沿道応援や歓迎会で交流しています。

（広報部会）（情報提供：岸和田市日本中国友好協会）



汕頭市天壇花園



友好代表団来岸



日中小学生絵画交流展  
(汕頭市)

◇人口：約550万人（2020年12月）

◇位置：北緯23度02分から23度38分、東経116度14分から117度19分で広東省南東沿岸に位置する。

◇気候：亜熱帯海洋性気候。年平均気温摂氏21から22度。年間降雨量1,300から1,800ミリメートル。

◇都市概要：中国の南東部、広東省にあり、南シナ海に面し、香港や台湾にも近い。1930年に市政が

施行された。中国の4つの経済特別行政区の1つであり、広東省東部の政治、経済、文化の中心地となっている。中国の港町、華僑の町、貿易の町と知られている。

◇姉妹都市交流の経緯：1985年汕頭市環境保護局長の市長表敬訪問を機に、産業・学術・教育等の各分野での交流が進み、友好都市締結された。

## 友好都市の紹介



### 中華人民共和国上海市楊浦区（2002年10月31日友好交流関係締結）

1990年大阪府内で「国際少女合唱祭」が開催された時に、岸和田市と楊浦区の中学生が共演し、岸和田市内で交流行事が行われたことがご縁となり、友好交流関係を締結しました。今年は締結20周年となります。

スポーツ交流では、KIX 泉州国際マラソンに楊浦区のランナーを招待しています。これまで、2011年の楊選手は一般男子の部で優勝、2013年の張選手は外国人ランナーとしてトップという好成績を残しています。当協会会員とは、歓迎会やホームステイで交流しています。

（広報部会）



楊浦区副都心



人民政府代表団来岸



トップ集団にいる楊選手

◇人口：約131万人（2020年12月）

◇位置：上海市の東北部で蘇州河の北側に位置し、南は「川沙県」西は虹口区、北は宝山区に接している。

◇気候：北亜熱帯季節風性気候。年平均気温摂氏約17.5度、年間降雨量約1,255ミリメートル

◇都市概要：上海市中心部にある区としては面積が一番広く、重工業の町として知られている。交通は大変便利で、全区の住居建築面積は1千平方キロメートル余を有している。大学と科学研究機

構が多く、映画館・図書館・文化宮（館）・体育場（陸上競技場）・温水プールなど各種の文化体育施設は20余りある。また、区内には敷地面積約1,760万平方メートルにのぼる森林公園がある。

◇姉妹都市交流の経緯：1990年に大阪府などが主催する「国際少女合唱祭」において上海市楊浦区と葛城中学校の合唱団が共演し、本市でふれあい交流事業を展開。

## 岸和田 再発見

2022  
3/13  
(日)

桜の開花が勢いづいてきた 3 月 13 日。岸和田城からスタートしてだんじり会館・城下町の紀州街道を体感するツアー「岸和田再発見」。参加者は日本人はじめ、ベトナム・フィリピン・中国出身の日本語サロン生徒さん、総勢 20 名。ガイドとして参加した当協会・F さんの案内のもと、初めて観光スポットに来る人も既に来た人も一緒に参加のスポット観光ツアーです。

岸和田育ちの地元愛が伝わる軽快な F さんガイドの饒舌トークをはさみながらのこのツアーは、岸和田城に数回は



お城集合

来たことがある筆者の、まったく知らない岸和田の面々を見せてくれたのです。

「岸和田城は岸和田市民の寄付によって再建されたので、岸和田市章が外壁に付いている」「謀反人・明智光秀の肖像画は、岸和田の本徳寺にだけ現存」、「神於山は、

岸和田の小学低学年の遠足、その後ろに見える葛城山は、小学高学年の遠足での行先」「だんじりはパズルみたいに彫り物が組み合わさったもの」。

トーンの高い元気なガイドの声に導かれ、ツアーは岸和田城からだんじり会館、そして紀州街道の練り歩き、へとどんどん進んでいきます。

こうした日本語を、サロン生徒の参加者にその都度訳して説明をする当協会参加者の K さん。普段は日本語サロンで日本語を教えています。岸和田を体で楽しんでもらえるようにと、だんじり会館で低いだんじり屋根の上の乗れる体験スペースでは積極的に生徒さんたちと一緒に体験。家族で参加したフィリピンの女性がツアーの解散前、早速スマホにプレゼントされただんじりストラップを付けてくれていたのが印象的でした。

解散後、それまでずっと気になっていた城下町の和菓子屋さんに寄ってお土産を買えた、岸和田在住 11 年目の筆者。

見事、岸和田再発見、と相成りました。（虻江詩奈子）



だんじり会館

### クラブ紹介

## あすなる クラブ

あすなるは英会話中級クラスのクラブ名です。井上靖の「あすなる物語」から命名されたのだらうと、私は推測しています。明日は檜（ヒノキ）になろうと一生懸命背伸びしている翌檜（アスナロ）の木。中級英会話クラスにピッタリの名前です。



クラブ員は先生に、「中級の力です」と言われて入ったのではなく、自分で中級クラスを希望した人の集まりです。何を持って中級なのか曖昧なあすなるクラブでは、

流暢に話せる人や、なんとなく理解できている人など幅の広いレベルの人々が集まっています。しかし雰囲気は和気あいあいです。目標が上級に近づきたいという向上心が同じだからだと思います。宿題の文面を渡され、家で単語を調べておけば、何とかついていけると私は頑張っています。あすなる物語には、「いくら頑張っても翌檜は翌檜、檜にはなれない。でも何もしなければ、翌檜にもなれない。」と書かれています。そうです。所属することは、すでに翌檜の木。自ずと前向きになってきます。皆さんもいらっしやいませんか。（KT）



## California - Japan Sister Cities Network

日本・カリフォルニア姉妹都市ネットワーク (CJSCN) は、姉妹都市と日本・友好都市関係を支援し、長期的な国際関係を育み、育成するものです。そして CJSCN は、これらの関係を強化する活動を通じて、平和と繁栄を促進することを使命としています。2022 年 5 月現在、日本の都市とカリフォルニア州の姉妹都市または友好関係にある都市が 109 市町村あります。

岸和田市は 1992 年市制 70 周年を機に地勢や国際空港に隣接する立地条件が似ている South San Francisco (SSF) と 81 番目の姉妹都市協定が締結されま



Symbol Photo in CJSCN Monthly Newsletter

した。そして CJSCN では春季と秋季にオンライン形式のワークショップが開催されてきましたが、2022 年度の春季ワークショップの日程は未定となっています。現状は全ての姉妹都市組織がパンデミックな COVID-19 の影響を受け、近い将来に開催されるイベントは殆んどないのが現状です。岸和田市も本来なら SSF と姉妹都市締結 30 周年イベントを企画する年度ですが、残念ながらまだ具体化されていません。1 日も早く事態が収束され、活発な姉妹都市交流が出来るよう願っています。（広報部会）



国際交流の中で不可欠なのは外国語です。しかし、日本語は他の外国語と比べて、文字も文法も全く違う言語です。これが私たち日本人にとって外国語を学ぶ上で大きなハンディキャップとなっています。また古来から海に囲まれ外国文化に接する機会が少なかったことから、無意識のうちに外国語にコンプレックスを持つようになり、苦手意識を持つのは当然です。

このような背景のなかで、皆さんはどのようにして外国語に接し学習しているのか、苦労話や感じていることを自由に投稿していただきましょう。

*Let's learn foreign language.*

## 《片田舎にたどり着くまで》

私の外国語との関わりは極々普通で、もう50年以上昔中学で習い始めた英語でした。教育に熱心であった母は、YMCAの会話教室に行かせましたが、教育熱心ではなかった私は2か月でやめて野球に熱中して、以来高校3年生まで続けました。従って中高生の時に英語にそれ程興味も抱かず、定期テストでよい点数を取れば満足でした。テストのための勉強は専ら暗記で、定期テストの範囲をともかく丸暗記する為にノートに書いてそらんじるというやり方で暗記力はあったし単語力もつきました。丸暗記も捨てたものではなく、書いて声に出してそらんじるとゆうことは野球の毎日のバットの素振りのようなものだった様にも思えます。大学の一般教養の英語の授業の記憶は殆どなく、第2言語のドイツ語も男性・女性・中性によって動詞も冠詞も変化する面倒くさい言語だと思っていましたが、後々ラテン語由来の言語は英語以外それが当たり前だと知りました。

外国語にはあまり興味なかったのですが中学生の時に海外で働きたいと漠然と思っていた時期があり就職活動は商社一本で何とか就職出来ました。希望していた輸出営業部に配属されたのはいいのですが、実際に読み書きは勿論会話ができるまでには後から自分でも笑ってしまうような失敗を繰り返して何とか切り抜けました。ON THE JOB TRAININGで揉まれて仕事をこなす資格試験に合格してヨーロッパの片田舎の駐在員になりました。中学生の時の思いが叶ったわけです。(山本周二)

## 《多文化社会の学校教育》

1992年に移住者としてオーストラリアへ渡った時、日本の教員免許が有効かNSW(ニューサウスウェールズ)州教育省へ申請した。国際大学名鑑で、教職課程を履修した出身校が35,000以上の蔵書を保有していると、正式に大学として認められるそうでも有効だった。ところが、英語を公用語としない国で教員免許を取得した者は、実際に教壇に立つには最終ハードルとしてNSW州政府が実施する英語の試験を受けなければならなかった。その試験は、English Language Skills Assessment Testといい、日本語では英語能力評価試験とでも訳されよう。これまで受験した英語の試験の中で一番難しかった。

リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4スキルすべてでレベルAを取らなければ合格をもらえず、レベルB以下だったスキルは再受験することになる。例えば、リスニングは、担任と母親の会話を聞いて、その母親が夫(子どもの父親)に担任との話の内容を伝える文章を完成させるものだった。要約のスキルも必要となり頭が混乱した。スピーキングは面接方式で、担任役の私は、学校で問題のある子どもについての話しの中で、家ではとても良い子だと主張する母親に理解を求める話をしなければならなかった。図書館に行けば過去の問題集があり、ある程度準備はできるが、すべてが実践的な試験で、オーストラリアらしいと思った。(三森すみ代)



エルムンドとはスペイン語で「世界」を意味します。国際化の時代にあわせ世界のカルチャー、ファッション、旅行、ライフスタイル等々がどんどん変わりつつあります。その中で皆さんが日常生活で感じたことを題材にとらわれず、自由に投稿していただくという趣旨のコラムです。

## 公衆トイレ事情と文化水準 ～外国人が驚く日本のトイレ～

かつて商用で初めての国や顧客を訪問する際には、まずは各所の公衆トイレ事情や企業内のトイレを観察するのが常であった。それによって公衆道徳の認識度や企業の指針を推し量ることができる、つまりトイレにその国の文化、国民性が集約されているからである。今や世界有数の経済大国となったA国で山水画を彷彿させる有名な景勝地での公衆トイレ…といっても屋根なし、隣との仕切りだけで、扉もなし、囲いをしていだけである。排出物は数人分同じ位置に積み重ねられている。(時折バケツで流される由)。用を足している時は丸見え状態である。ペーパーは新聞紙。排水路を辿れば何と川に垂れ流してはいないか。遠隔地の企業内トイレも一般的に建物外にあり、同じような仕組みである。同国ではとにかく人口が多いため、使用回転率を高めるため、かような簡素な造りになっているらしい。



めざましい経済発展を遂げているB国の某国際空港では一応西洋式便座付きトイレであるが、便座の脇にホースや水桶があり、用を足した後、その水と左手を使用しお尻を洗うというスタイルである。これがイスラム教やヒンズー教では左手は不浄とされ、食事や挨拶には絶対に使われない所以である。



世界のトイレにはその国の文化や宗教などの理由から、独自のルールが存在しているので、まずはその国のトイレ事情を知っておく必要がある。治安や衛生面を考えると、場所によってはチップも必要となるが、ホテルや高級レストランなどで、用を足すことが鉄則である。海外では盗難予防の観点からペーパーが常備されていないことは不思議ではない。日本のトイレはきれいで衛生的であるだけでなく、ウォシュレットなどの充実した設備、トイレトペーパーの紙質、プライベート空間の確保、非常ベルの設置、こんな快適なトイレを無料で使用できる国は、世界のどこを探しても日本以外にはありえない。排泄行為は人類の重要なポイントで、この行為をどのように行うかによってその国の文化水準を言うことができる。(塩屋 裕)

3/19 Jude Ezeamakas さん  
(土) (ナイジェリア連邦共和国)

English Open Café イングリッシュ オープン カフェ 口にしてみると何と心地よい響きでしょう。70 歳代の私は、この心地よい響きの空間に母音含みの英語を引っさげて入室したのです。代表の U さんは、いつも綺麗な着物姿で、私たちを迎えてくれます。参加されている方は、流暢な英語を使える人や、堪能なのに自信を持っていない方など様々ですが、代表の目指すのは、個人の能力の有無ではなく、岸和田の地での英語を通じた国際交流だそうです。

今回、ゲストはナイジェリア出身の Jude Ezeamakas さんでした。途中で数年間帰国されていますが、15 年前初来日して以来の日本通です。現在 ALT で英語を教えておられます。この日も日本語の冗談を混じえながら、アフリカでのナイジェリアの位置や、母国の美味しい食



べ物などを映像を見せながらわかりやすく話してくれました。また、日本食では納豆が大好きとおっしゃり皆を笑わせてくれました。母国では牧師をされていたそうです。その牧師のお仕事の話になると非常に熱心にご自分の意見を語っておられ、人を導くお仕事に、真摯に向き合っておられる旨、圧倒されたぐらいでした。ここの部分の英語は難しかったのですが、その話ぶりに、思わず感動し、言葉を越えた交流を実感しました。居ながらにして外国文化を学べてとても幸せでした。

月 1 回の集いはわからないところがあっても、英語に触れられる絶好の機会でした。  
(田中希美子)

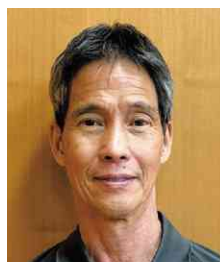
4/16 James Lam さん  
(土) (アメリカ・ハワイ)

ハワイからのゲスト James Lam さん、奥様の Mona さんもお一緒に。岸和田日本語教室で勉強されているのでボランティアの方々も多く参加され盛況でした。漁船のガラス玉がぶかりぶかりとハワイに流れ着き、そこで様々に飾り付けされてアートの世界に。ガラスが途中で割れないのはなぜ?と聞くと、とっても分厚いガラスだからとのこと。その装飾ガラスがまた日本にきて居酒屋の玄関を飾っているのに驚いたと。国と国の文化がそういう風に交流していけば面白いですね。色々な家族写真を見ました。中国系、日本、スペイン、ハワイ(アメリカ)種々の民族の血を脈々と受け継ぎ、今現在の James さんが成り立っていることの不思議さを感じました。

マグロかな?美味しそうな魚をキューブ状に切ったものをちょっとグリーン野菜と共にご飯の上ののっける、



ハワイの州旗



Poke 丼って言っていたようですが、まさに日本のマグロのづけ丼様式、それのもっと分厚くて豪快な感じです。

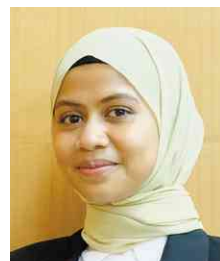
ペザントという鳥の羽根を丁寧にアレンジして男性の帽子の飾りにしたり、lace の精巧な作品にも驚かされました。サマリタンパースの活動にも参加され、東北の津波被害の地へボランティア活動もされたとのこと、一生仕事だけに力を費やすことへの無意味さを感じ、ある時から生活のシフトチェンジをされたとのこと、与える喜びや人への愛、神様についていくそのようなことを生活の柱に据えておられる James さんでした。  
(田村志津子)

5/21 Dia Loza さん  
(土) (インドネシア)

8人兄弟の末っ子の Loza さんは、インドネシアのジャワ島の出身の敬虔なイスラム教徒。

プロフィールからの先入観は甘えん坊で、ヒジャブ姿から少し取っ付き難い人かなと思っていました。しかし、彼女が話し始めるとその先入観は音を立てて崩れおちました。

8年前に来日、多い日には一日に4件ものアルバイトをしながら日本の大学で学び、今はその流暢な日本語と英語とインドネシア語を操る日本企業のキャリアウーマン。一番好きな日本語は「ありがとうございます」。仕事を離れては、日本在住のインドネシア人のバレーボールチームの唯一の女性として活躍。そして北海道でスノーボードをするのが楽しみとのこと。(もちろんカイロは忘れずに)



世界最多の1万3千以上の島からなり、世界で4番目に人口の多いインドネシア、国民の87%がイスラム教徒で世界最大のムスリム人口を抱える国。豊かな自然の熱帯の森にはインドネシア語で「森の住人」の意味のオランウータンが生息している。

「ヒジャブは何枚くらい持っているの?」という質問には「A lot!」。今日は何枚のヒジャブにしようか毎朝迷うのかな。ハラール料理を食べ、ラマダン(断食)を守り、一日に5回メッカの方に向かって祈る Loza さん。メッカには行っていないそうですが、スマートフォンにはメッカの方角を示すムスリム独自のアプリが入っていました。(内田満弥)



第10回

うしたきさん  
牛滝山

だいいとくじ たほうとう  
大威徳寺の 多宝塔や  
あき もみじ ゆうめい  
秋の紅葉などが 有名です。  
たき しぜん うつ  
滝や 自然も 美しいところです。

かつらぎしゅげんどう(やま こころ)  
もとは 葛城修験道(山で 心と からだを きたえる)の  
たいせつ ばしょ  
大切な 場所でした。

いんたーねっと きしわだし だいいとくじ しら  
インターネットで 「岸和田市 大威徳寺」を 調べてください。  
どろーん さつえい うつ えいぞう み  
ドローンで 撮影した 美しい 映像を 見ることも できます。

だいいとくじ  
1.大威徳寺

さんもん はい しょうろう たほうとう  
山門を 入ると 鐘楼や 多宝塔が  
しょうろう ねん た  
あります。鐘楼は 1681年に 建て  
られました。



たほうとう ねん た  
多宝塔は 1515年ごろに 建てられま  
くに じゅうようぶんかざい がつ にち  
した。国の 重要文化財です。11月15日  
ころから 30日まで 紅葉が とても  
うつ  
美しいです。

いち たき に たき さん たき  
2.一の滝、二の滝、三の滝



いち たき らくさ  
一の滝 - 落差10m



に たき らくさ  
二の滝 - 落差5m

さん たき らくさ  
三の滝 - 落差10m



うしたきおんせん し き  
3.牛滝温泉「四季まつり」

おんせん  
温泉が あります。  
しょくじ  
食事をする ところもあります。



地球家族

《The Gift of the Magi》



カツラの材料となる人毛の供給元は世界中でインドがトップです。調達ルートは2通りあり、一つは髪の長い女性が、毎日櫛で髪をとかした時に抜ける髪を集めておいて、それを業者が各家庭を回って購入する方法。もう一つはヒンズー教信者が、願い事が叶った時の感謝の捧げ物として、金品ではなく自分の髪の毛を捧げる方法。特に貧しい家の女性達は金品を捧げることができないので、一番大切な物である髪の毛を捧げるとのこと。寺院には剃髪用の部屋もあり、多い日には一日1,000人もの女性が剃髪し、各寺院はその髪の毛を業者に売っているのです。



一方、最近よく聞く言葉に「HAIR DONATION」があります。

小児がんの子供は抗がん剤や放射線治療の副反応によって髪の毛が抜けてしまいます。自分の姿に塞ぎこみ、周りの目を気にして、家に閉じこもり友達と遊べなくなってしまいます。そんな子供に、ウィッグを贈るボランティア活動が「HAIR DONATION」です。一人の子にウィッグを贈るのに約30人分の31cm以上の長さの髪の毛が必要とのことです。そのために髪の毛を伸ばしている人達が日本にも大勢います。髪の毛を提供する人とウィッグをつける子供は、臓器移植とまでは言えませんが、ドナーとレシピエントの関係です。

タイトルのオー・ヘンリー小説「The Gift of the Magi (賢者の贈り物)」の主人公のデラ、彼女も夫の懐中時計の鎖を買うために、自分の大切な髪の毛を切りお金に換えはしましたが、そこには家族の「愛」があふれています。(内田満弥)

# 岸和田に暮らして...

かつては外国の街、岸和田も、住めば都となり今は自分が暮らす我が街岸和田。そんな国際色豊かな ifa-きしわだの心強いサポーターでもある皆さんに、自分史や岸和田での暮らしについてお話いただいています。



KISHIWADA  
第 34 回

ジャン マイケル パーディリア  
Jan Michael Y. Pardilla さん(フィリピン)



カダヤワン祭り

フィリピン南部のミンダナオ島のダバオ市出身のジャンさんは、来日して3年半、岸和田に暮らし始めたのが2021年の8月からと、まだ岸和田人となって1年も経っていません。



フィリピンでは看護師の資格を持っており、来日当初は東京で介護の仕事や、N大病院で内視鏡などを扱う看護助手をしていたとのこと。

## 「岸和田ではどんなお仕事を？」

ALT(Assistant Language Teacher)として、市内の小学校4校と中学校1校で外国語指導助手をしています。もともと子どもが好きだったこともあり、日本の子どもたちに英語を教える事ができ幸せです。

## 「日本の学校の印象は？」

国による援助がとても手厚いです。教科書が無料ですし、教室にあるモニターやWifiなどハイテク機器がそろっています。そして、給食が美味しく栄養バランスの良いことに感激しています。とさすが看護師さん。

## 「岸和田の印象は？」

岸和田に住み始めてすぐに「だんじり祭」がありました。

フィリピンのダバオ市にもカダヤワン祭りがありますがだんじりはとてもエキサイティングでした。桜が満開の岸和田城や夕日が沈むカンカンベイサイドなどとても美しい所がたくさんあります。

普段は自転車で学校まで通っているジャンさんはとても行動派で新鮮な野菜を手に入れるため愛彩ランドまで自転車で行くとのこと。

## 「これから岸和田でどんなことをしたい？」

子どもたちが英語でコミュニケーションが取れるように、ALTとして英語を教えてあげたいし、自分も漢字がもっと読めるように日本語を勉強したいです。

幼い頃、日本の小さなお土産をおばさんからもらったことが日本への関心のきっかけとなり、ドラゴンボールなどのアニメで育ったジャンさんのますますの岸和田での活躍を期待します。(取材：内田満弥)



ジャンさん撮影

## Information

### ■2022年(令和4年)度年会費納入

今年度の事業推進に際し年会費を納入いただきますよう、よろしくお願いたします。  
納入方法は下記のいずれかの方法にてお願いします。

1. 直接、事務局  
(岸和田市立文化会館(マドカホール)内)で納入
2. 口座振込み

### ■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンテーションをしていただき交流を図ります。

【と き】9月以外の第3土曜日 13:30~15:30

【と ころ】マドカホール 3F 視聴覚室

【費 用】無料 \*事務局へお申込みください。

(先着 20名まで受付)

にゅとびあ岸和田 No.132

お問い合わせや感想などは事務局まで

編集担当

蛇江詩奈子・内田満弥・  
塩屋 裕・西村紀子・  
三森すみ代

TEL&FAX (072)457-9694

https://ifa-kishiwada.rinku.org/ メール ☒ kokusai@sensyu.ne.jp

